

十月號讀後

檜 山 京

五六

巻頭の「健康」に秋晴れの空がかゞやき、赤まんぼがまぶかふ、かけまわる子等の歡聲とつぶらな瞳をこらして、あぶをねらふ子の、しのび足の姿が目にかぶ。

健康の秋ミ題してのかすくのお話の中に、宮田先生の「身體教育としての幼兒の運動生活に就て組織系統ある科學的基礎の上に立脚せよ」のお言葉は實に私共實際家が痛切に感じてゐる處である。

可愛い、遊戯はあふれすぎる程ある、子供の動き子供のポーズはそのまゝそれでも可愛いものである上に服裝の形や色で變化をつければどんなにでも人形をみるような可愛さの遊戯は出来るのである。私共は此頃洪水のように多方面から流れ出る遊戯を我が幼兒達の爲に何の尺度を以て取捨するか。私共にはまづ身體教育としての科學的組織系統のある、尺度が必要なのである、けれど私共は手近にそれを

持てゐない、或體育専門家に問ふたら「幼兒の事は私はしらない」云はれ「赤ちやんの體操は？」云いいたら「本（ドイツ語）にある」云はれ其後婦人雜誌で嬰兒體操の仕方だけは紹介されたがそれが幼兒期にはいかになるべきかは示されてゐない。云て私共日々子等ミ遊ぶ者は尺度がないから遊戯をしないといふわけには行かない。さしあたり跳躍のあるもの、かけまわるもの、手の運動はなるべく大きいもの、そして幼兒にし易くわかり易く、喜ばれるものをえらんでゐる。けれどそれが上記の尺度にさうあてはまるか私共は常に長い間知り度いミ希てゐた所である。それ故先生の「科學的基礎の上に立脚した點が乏しい」のお言葉を「ほんさうにさうだ〜」ミひしく思はせられる。

よい處を指摘して下さつた事を深謝するミ同時にまことに勝手なお願ひかもしれないけれど「身體教育としての科

學的組織系統つけられた幼児の運動がいかなるものであるかに就て他日是非宮田先生のお話を願へるなら此紙上に承りたく切望する。

「幼児と日光浴」の題の下に、めぐみ幼稚園のお子さん方の幸な御様子を伺て大層愉快に思ひました。ここに私共の幼稚園のように、十月から翌年三月まで陽のあたらない運動場を持って居りますものは、日あたりのいゝ芝生のあるひろくした園、冬でも裸になれる設備まである所をぎんなに子等の爲にいゝだらうと想像します。私達は四月から九月までのよく陽のあたる間だけ使て、後の半年は小學校庭の陽あたりのいゝ處、屋上又は園外へ出て、明治神宮外苑の芝生へミ陽なたを求めてあるきます。陽なたであそびまわればこちらから云はずとも丈夫な子等は上衣をぬぎはじめます。よく十一月の晴れた日に上衣をぬいで、枯芝の上で、角力をまつたり轉がつたり外苑のかへりに子供等は大方上衣ミバスケットを持つて頬を眞赤にしてゐます。裸、はだしも暑いうちは出来るだけ奨励してゐますが、めぐみ幼稚園のように冬まで出来るようになって居りません、私

共は幼児のかうした身體の方面に、此時期にしないではない大切な事を何かし残してはゐないでせうか、かういふ幸な幼稚園の御様子を伺ふにつけてさう思ひます。

「自動車利用の園外保育につきて」の題の下に、お江戸日本橋さいはれる都會の中央の城東幼稚園で都市幼児の爲に其園外保育について幼児を自然へつれ出す事に就て、ごに其處の先生方が苦心をされ努力をしていらつしやるかを承り心から御同情し敬服致します。一口に外に出るご云ひんなますごた易い事の様でも、眞直に向いて歩けない子、蟻一匹に立止る子等をしかも多數ご一人ご一人に、大小の心づかひに其の上一回の經費を少くして幾回も出ようとする事は一通りの御苦心ではありますまい。一足出てもゴーストプごいふ激しい交通の場所であり商業中心地である日本橋で、春秋の遠足以外に七回もお出かけになつたのは、ほんごうに御努力の結果ご思はれます。脇谷先生の御希望として終りにおのべになつてある都市幼稚園の爲の郊外敷地ご交通機關の利用、眞當に此問題は私共都市幼児の教育にたづさはる者が全力をあけて是非實現したい事であります。

「幼児教育にも一業恵心主義が必要」の題の下に、牛島先生が幼児教育振興の必要を叫んで居られますが、私のやうに、自然から遠ざけられた都市幼稚園に居ります者には、都市幼児なるが故に二重に幼児教育振興の必要を痛感して居ります、文化の過重を申しますか、成人のうける文化の恩典を（その爲に幼児としては必要な自然からますます遠ざけられ）逆にかうむつてゐる都市幼児の爲に、私は都市幼児の幼稚園義務制を叫び度いと思て居ります、六大都市長會議でも大都市の特別都制が問題になつてゐる様です、國家は今非常時に際してゐます、次代の國民の基礎教育の爲に、幼児教育又幼稚園教育は、その内容にも又教育行政にも一躍革新の必要が大いにあるのではありませんか。最後に一言し度きは「ミテ先生は主任保姆の園長を援けて責任を果す意氣不充分を申されました、自分の事は自分にはわからぬ事が多々あります、何卒今後も此の様に御指示さすれば自ら顧みて一層努力を致す覺悟であります。

私共は十一月の健康週間を目前にひかえて、より健康號

を讀ませて頂いた事を深く感謝致します。健康は秋から冬へ、そして芽生えの春へミつゞきませう。やがて木枯の吹く頃、私共はかよわい幼児の皮膚を護るに同時に、遙に先生方ご同志の方々の御健康を祈ります。

（六四頁より續く）

居ります。これは、ほんみに靜かな氣持ちで取扱ひ度いミ存じます。大勢でするよりも、全體を幾つかに分けて少人数でする方が、氣持ちも落着いていゝ様に存じます。

以上はほんの一、二の例に過ぎませんが、實際に致して見て、子供に教へられながら、自分の組の子供に合ふ様に、これでも色々工夫致しました。適當な題材を選び、折角のいゝ材料をその幼稚園、その子供等に合ふ様に生かして使ふのこそ、私等の役目で御座いませう。

何かの御参考になれば幸せに存じます。